



ONWARD PRESENTS

Cinderella シンデレラ

Tetsuya Kumakawa

K-BALLET COMPANY

熊川哲也 Kバレエカンパニー Winter 2012

[芸術監督] 熊川哲也

熊川哲也 Bunkamura オーチャードホール 芸術監督就任記念 Kバレエカンパニー Winter 2012 「シンデレラ」

Bunkamura オーチャードホール

日程	2/2(木)	2/3(金)	2/4(土)	2/4(土)	2/5(日)	2/5(日)	2/7(火)	2/8(水)	2/8(水)	2/9(木)	2/9(木)	2/10(金)
開場/開演	18:00/18:30	18:00/18:30	12:30/13:00	16:30/17:00	12:00/12:30	16:00/16:30	13:30/14:00	13:30/14:00	13:30/14:00	18:00/18:30	18:00/18:30	18:00/18:30
シンデレラ	松岡梨絵	浅川紫織	東野泰子	松岡梨絵	神戸里奈	荒井祐子	松岡梨絵	東野泰子	松岡梨絵	荒井祐子	浅川紫織	松岡梨絵
王子	宮尾俊太郎	遅沢佑介	秋元康臣	宮尾俊太郎	浅田良和	橋本直樹	宮尾俊太郎	秋元康臣	宮尾俊太郎	橋本直樹	遅沢佑介	宮尾俊太郎

S席 ¥13,000 A席 ¥10,000 B席 ¥8,000 C席 ¥6,000(税込) 指揮: 福田一雄/井田勝大 演奏: シアターオーケストラトキョー

お問い合わせ Bunkamura 03-3477-3244 (10:00~19:00) <http://www.bunkamura.co.jp>

チケット取扱
Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999 (10:00~17:30 オペレーター対応) 店頭受付 (10:00~19:00)
Bunkamura オンラインチケット <http://www.bunkamura.co.jp/plaza/> (PC) <http://mobile.bunkamura.co.jp/plaza/> (携帯) ※事前登録が必要
チケットスペース 03-3234-9999 [チケットスペースオンライン] [検索] TBS オンラインチケット <http://www.tbs.co.jp/kumakawa/>
チケットぴあ 0570-02-9999 (音声自動応答予約・Pコード: 415-059) <http://pia.jp/t/k-ballet/> (PC&携帯)
ローソンチケット 0570-084-003 (音声自動予約・Lコード: 30016) 0570-000-407 (オペレーター対応) <http://l-tike.com/k-ballet/> (PC&携帯)
CNプレイガイド 0570-08-9999 イープラス <http://eplus.jp/kumakawa> (PC&携帯)

好評発売中!

[公演に関する詳細] <http://k-ballet.co.jp/>

主催: TBS/Bunkamura/TBSラジオ 特別協賛: ONWARD 株式会社オンワードホールディングス 協賛: Chacott チャコット株式会社 オフィシャルエアライン: ANA
制作: K-BALLET COMPANY/TBS/Bunkamura

※キャストは2011年11月10日現在です。出演者の病気や怪我等やむを得ない事情で変更となる場合があります。最新キャストは <http://k-ballet.co.jp/company> にてご確認下さい。○公演中止の場合を除き全ての公演に関して主演者をはじめとするキャスト変更に伴うチケット代金の払戻、公演日や券種の変更はお受けできません。旅費、チケット送料の補償は致しかねます。○5歳以上の入場が可能です。ただし、お席が必要です。○演出上、開演後のご入場は制限させていただきます場合があります。
Photographs by Ayumu Gombi/Jin Kimoto/Shunki Ogawa/Hirotsugu Okamura/Hidemi Seto Styling Die-co

美しい時代へ——東急グループ

熊川哲也、オーチャードホール芸術監督就任記念「シンデレラ」世界初演!



世界の頂点を極めたバレエダンサーであり、Kバレエカンパニーを率いる芸術監督——パフォーミング・アーツ界を牽引する芸術家として不動の地位を確立する熊川哲也が、2012年1月、Bunkamura オーチャードホールの芸術監督に就任決定! 記念すべき公演第1弾を飾るのは、自身の演出・振付による新プロダクション『シンデレラ』である。数々の名作を世に送り続け、今や現代屈指の演出家としても名高い熊川が生み出すその世界は、バレエという総合芸術への妥協なきこだわりが貫かれた至高のファンタジー。夢あふれるストーリー展開、自らが絶頂にあるダンサーならではの視点で構築される多彩なダンス、そしてかつてない神秘的空間で目にする魔法の瞬間の数々——よく知るはずのペローのおとぎ話が新たな生命を得て輝きを放つこと必至! 熊川マジックに満ちたグランド・バレエ最新作が、またひとつシアター文化の扉を開く!!

そして、“魔法の時間”は訪れた——
芸術監督・熊川哲也が語る、ファンタジー超大作の構想

クラシックの王道を貫き、“リアルな夢”を

『シンデレラ』は永遠の夢であり、ファンタジー。数あるバレエ作品の中でも子供たちが憧れ、楽しむことができる題材というのは貴重ですから、今回の新制作にあたっては、大人だけではなく、子供が心から夢を託る作品に、というのがまず第一にあります。基本コンセプトとしては、時代を超えて愛されてきた童話本来の世界観を、クラシックの王道を貫き描いていく、そこに尽きます。あくまでダンサーの身体、つまり踊りで表現することを主体に、そのもとの物語を効果的に描き出すためのストーリー展開というのを、今、構築しているところ。もちろん、かぼちゃが馬車に変わったり、シンデレラが変身したりといったマジカルな瞬間を、舞台空間でどう表現するかという点も見所になります。「くるみ割り人形」(2005年初演)で実現したような、子供だましではない“リアルな夢”をお見せしたいですね。

の美術はヨランダ・ソナベンドの最高傑作になる!

イギリス美術界の第一人者であり、英国ロイヤル・バレエの黄金期を彩る名作の数々でも知られるヨランダ・ソナベンドは、ファンタジーの世界を表現することにかけて、とりわけ傑出した才能を発揮するデザイナー。これまで「くるみ割り人形」を含め4作の全幕でコラボレートし成功を収めてきた中で、互いの芸術性は熟知していますが、なかでも今回の美術は最高傑作となる、そんな確信をすでに抱いています。時代背景としては19世紀前半を意識しつつ、全体的に現実とはかけ離れた世界、幕が開いた瞬間からおとぎ話に入り込めるような非現実的空間に仕上げるつもり。階段やドア、暖炉といったパーツひとつひとつも、完璧なファンタジーの要素として成立させたい。観客を一瞬たりとも現実に戻さない空間、舞台上で生きる演者側も非現実世界の住人になりきれ空間——その理想のすべてを形にしていきます。

劇場という空間で実現し得る、最高の魔法がここに!

オーチャードホール芸術監督就任の第1弾公演

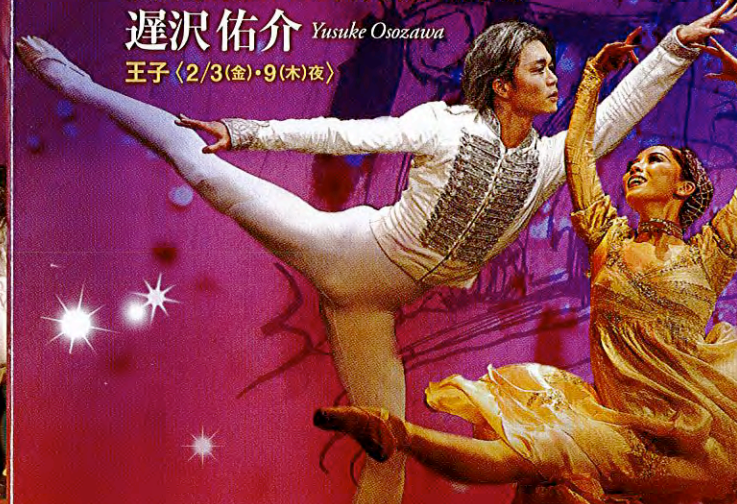
でもある今回の新プロダクションは、あえて演出・振付のみに専念する形を選びました。料理する側にだけ徹することによって、おのずと作品へのアプローチは違ったものになっていますし、また時に自分のボキャブラリーになかった振付が生まれたりすることもある。今それを楽しんでいますね。当然、完成度としても、これまでのプロダクション以上に高い到達点に至れるだろう手応えを感じています。劇場という空間で実現し得る、最高の魔法をお目にかけますので、ぜひ楽しみにしてください。

ロイヤル・バレエを10年で退団し、自分のバレエ芸術を実現する場としてKバレエを設立して10年が過ぎ、そして今また40代を迎える年に劇場の芸術監督に就くという、新たな展開が訪れた。経験やキャリアに呼応して、人生に必要な要素や節目はおのずと目の前に現れるのだと、率直に感慨を覚えます。僕の使命は、偉大な先人が残した作品を継承し、浸透させ、未来に向けて進化させていくこと。渋谷というハイカルチャーとポップカルチャーが共存する街から良質な古典芸術を発信していくことが、相乗効果を生み、日本のシアター文化を根付かせることにつながればと考えています。もちろん自分自身、これをステップアップに新たな領域を開拓していきたいという気持ちもある。さまざまなジャンルのアーティストが集う企画をプロデュースするなどの展開も含め、可能性を探りながら5年間動めたいと思います。そして何よりも、愛するバレエ芸術を追求し続けること——それはこの先も変わることはありません。



長身から繰り出される鮮烈のテクニックと優れた演劇性が生み出す異色の存在感

遅沢 佑介 Yusuke Osozawa
王子 (2/3(金)・9(木)夜)



少女役からプリンセスまでバレリーナとしての充実を迎えて次なる境地へ

神戸 里奈 Rina Kambe
シンデレラ (2/5(日)昼)

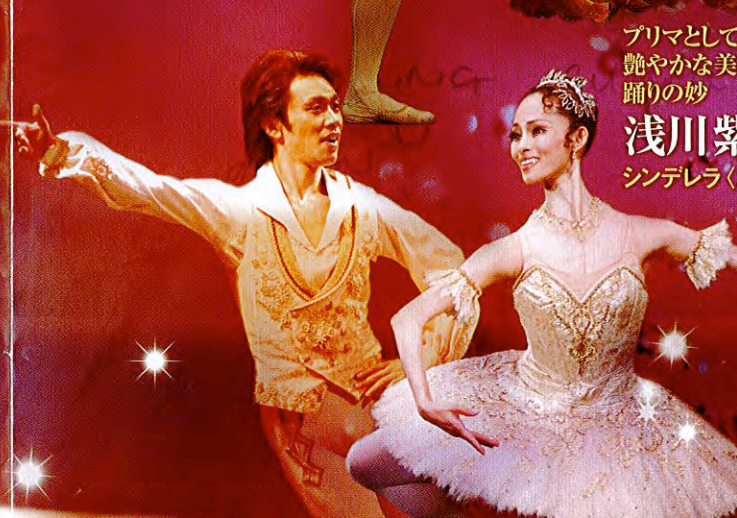


柔軟性とバネに富んだ美しい体躯に宿るエレガンスとパワーの絶妙な調和

浅田 良和 Yoshikazu Asada
王子 (2/5(日)昼)

プリマとしての風格を備えた艶やかな美しさと清潔感に満ちた踊りの妙

浅川 紫織 Shiori Asakawa
シンデレラ (2/3(金)・9(木)夜)



類まれなスタイルを持ちジャンルを超えて活躍するバレエ界のプリンス

宮尾 俊太郎 Shuntaro Miyao
王子 (2/2(木)・4(土)夜・7(火)・8(水)夜・10(金))



熊川哲也が“生まれながらのプリンシパル”と評するKバレエカンパニーきっての名花

松岡 梨絵 Rie Matsuoka
シンデレラ (2/2(木)・4(土)夜・7(火)・8(水)夜・10(金))

陽光のごときオーラをまとったその身から放つ観る者を高揚させる確かなテクニックと表現力

橋本 直樹 Naoki Hashimoto
王子 (2/5(日)夜・9(木)昼)



強靭かつ華麗なテクニックと深まる叙情性揺るぎない存在感を示す成熟のプリマ

荒井 祐子 Yuko Arai
シンデレラ (2/5(日)夜・9(木)昼)



バレリーナの王道・プリンセス役でひと際輝く柔らかな気品と情感あふれる舞い

東野 泰子 Yasuko Higashino
シンデレラ (2/4(土)昼・8(水)昼)

品格に満ちたスマートな踊りと高まる表現力注目度急上昇の新鋭、Kバレエ入団後初の主演デビュー

秋元 康臣 Yasuomi Akimoto
王子 (2/4(土)昼・8(水)昼)

inderella
Artistic director Tetsuya Kumakawa
Production/Choreography Tetsuya Kumakawa
Music Sergei Prokofiev
Set and Costume Design Yolanda Sonnabend/Leslie Travers
Lighting Design Hisashi Adachi
[芸術監督] 熊川哲也
[演出・振付] 熊川哲也 [音楽] セルゲイ・プロコフィエフ
[舞台美術・衣裳] ヨランダ・ソナベンド/レスリー・トラヴァース
[照明] 足立恒

シンデレラ

王子

シンデレラ

道化